沼津 キャンパス
沼津ヒューマンケア学部

看護学科

地域の保健・医療・福祉を担うまごころとおもいやりの看護師・保健師を育てます。

目標につながる4つの特色

4年間の学びを多方面からサポートする東都大学独自の教育システム。
確かな知識や技術をもとに、ヒューマンケアを実践できる医療人を育成します。

1 充実したカリキュラム、しっかりとした看護の知識・技術の涵養

1年次には、医学の基礎を学ぶ必修科目以外に20科目近い選択科目を用意し、ヒューマンケアを実践できる大学生としての基盤を育む機会を提供します。その後、学年が進むとともに、看護の基礎から専門領域へと学びの幅を広げ、それらを講義だけでなく学内演習と病院などでの実習を通じてしっかりと学んでいける体系的なカリキュラムを提供しています。

■静岡県東部地区の実習施設

病院・診療所	
伊東市	1
伊豆市	2
御殿場市	3
三島市	3
駿東郡清水町	1
沼津市	6
裾野市	1
熱海市	2
富士宮市	2
富士市	7
(全34施設中)	28

その他看護師関係施設(訪問看護ステーション、保育所等)	
御殿場市	1
三島市	1
駿東郡清水町	1
沼津市	7
函南町	1
富士宮市	1
富士市	4
(全16施設中)	16

保健師関連実習施設(小中学校、保健所等)	
下田市	1
沼津市	50
熱海市	1
(全52施設中)	52

※実習施設全102施設中、96施設が東部地区に集中しています。

→ 詳しくはP52・53へ

2 優れた教育環境

沼津キャンパスは、周りに多くの公立、私立の中学校や高校が並ぶ「学園通り」に立地しています。沼津駅から徒歩約12分のところにあり、沼津市外からの通学にも便利だと在学生の評価を得ています。また、もともと由緒あるシティーホテルとして地元に愛されていた建物を改修した校舎は、ホテルテイストを残しながら、大学として必要な設備をコンパンクトに配置しています。なお、体育館と運動場は附属していませんが、近隣の企業等と利用契約を結び、授業に支障なく使うことができます。

■通学風景

→ 詳しくはP56へ

3 心といのちのケアができる看護専門職を育てる教育

看護師、保健師は、医療の専門職Professionであり、その役割を担うために看護・医学の知識・技術だけではなく、患者など看護を求める人々にしっかりと寄り添う「心」が大切です。そのためには、皆さんの心のなかに「人に尽くす」、「人に優しい」という徳（道徳性）を育むことが大切です。人と人との関係性のとり方が大きく変わってきている今日、改めてこの「徳（道徳性）」に注目し、患者やケアの対象者との良い人間関係を構築し、看護に向き合えるようになるための教育を用意しています。

■講義風景

→ 詳しくはP54・55へ

4 入学から国家資格の取得まで一貫した充実したサポート

学生の能力に応じたサポートをします。学生には約10人のグループごとに1～2名の教員がチューターとして配置されます。履修上の問題などがあれば、学修支援のための指導を行い、また、奨学金などの相談にも乗ります。さらに、卒業時に看護師、保健師（選択学生）の国家資格が取得できるように、国家試験に向けた特別指導も用意します。入学から卒業、そして国家試験に向けて一貫してサポートします。

■学生指導の様子

→ 詳しくはP61・62へ

在学生の声 Student's Voice

沼津ヒューマンケア学部　看護学科2年
小林 千咲さん
静岡県立静岡城北高等学校出身

1年次は身体の構造・機能や基礎看護学概論、またヒューマンケアに着目したヒューマンケア概論などの講義で看護の基本となる知識、心構えについて様々な側面から学習しました。また、看護援助論Ⅰ・Ⅱでは基本的な看護技術を学びました。そして基礎看護学実習Ⅰでは、初めて実際に働く看護師さんを間近で見て看護師の職務を知るとともに、自分たちが学んでいる看護の基本の知識や技術の大切さを実感する機会になりました。

覚えなくてはいけないことも多く大変ではありますが、先生方は快くわからないところを細かに解説してくださり、多くの信頼できる先生方のおかげで充実した1年間を送ることができました。また、意見箱や授業アンケートなどで私たちの意見を反映してくださり、学校全体で私たちが学習する環境をより良いものに整えてくれます。

私は静岡市に住んでいますが、沼津駅から徒歩で通える距離であることにより快適に通学できます。元シティホテルということもありおしゃれな造りも多く、学校で学習するモチベーションになる点も東都大学の大きな魅力だと思っています。

在学生の声 Student's Voice

沼津ヒューマンケア学部　看護学科2年
川辺 真陽琉さん
栃木県私立佐野日本大学高等学校出身

看護援助論Ⅰ・Ⅱの授業では、これまで学んできた知識からどのような看護をしたら良いか、グループに分かれて計画を立てて実践しています。実践後はグループや全体での振り返りがあり、他のグループの計画も共有したり、動画を撮って自分の援助の様子を客観的にとらえることができるため、改善点を振り返ることができました。

私は実家から離れた東都大学沼津キャンパスに入学し、初めてのことが沢山あり、勉強面・生活面で不安がありました。しかし、チューター制度という学生8～9人に対して先生2名がチューターになって学生生活などを相談できる体制があります。大学だけではなく、勉強とアルバイトの両立や友人関係など生活面の相談にも乗ってくれます。相談時は先生が些細な話でも聞いてくれるため、緊張せずに相談することができました。

さらに卒業時に国家資格が取得できるように、1年次には、国家試験のガイダンスがあり、看護師国家試験について理解することができます。そして1年次後半には、看護師国家試験対策模試（低学年模試）があります。模試後は復習の時間を作り、苦手な分野を知ることができ、学習の向上に繋げることができました。

Curriculum

4年間で余裕を持って確実に国家試験に合格する

ヒューマンケアを基盤とする特色あるカリキュラム

赤文字：必修科目
青文字：選択必修
黒文字：選択科目
◆印：学外実習

1年次

基礎的な看護知識を身に付け、専門的な学修への基礎を固める。

看護専門科目群

基礎看護学概論
ヘルスアセスメント
看護援助論Ⅰ
看護援助論Ⅱ
基礎看護学実習Ⅰ◆
成人看護学概論
リプロダクティブヘルス看護学概論
地域の健康と看護Ⅰ
精神看護学概論
在宅看護概論

看護の基礎科目群

身体の構造・機能Ⅰ（基礎編）
身体の構造・機能Ⅱ（系統別）
身体の構造・機能Ⅲ（構造・機能測定法）
生化学
医療栄養学
薬理学
病態学
感染と免疫
疾病治療論Ⅰ（呼吸・循環器系）
疾病治療論Ⅱ（消化器・内分泌系）
公衆衛生学

ヒューマンケアの基礎科目群

ヒューマンケア概論
いのちと倫理
沼津の歴史と文化
心理学
法学（日本国憲法を含む）
社会学
教育学
生活科学
医療の歴史
生活と芸術
スポーツ健康科学Ⅰ
スポーツ健康科学Ⅱ
化学
数学の基礎
生物学
物理学入門
情報処理
統計学入門
大学入門講座
情報学基礎
看護とキャリア
手話入門
英語Ⅰ
英語Ⅱ
フランス語
ドイツ語

2年次

いよいよ専門領域へ。人間の健康と病気について理解する。

看護専門科目群

看護倫理
看護援助論Ⅲ
看護実践方法論
基礎看護学実習Ⅱ◆
小児看護学概論
小児看護学援助論
成人看護学援助論Ⅰ
成人看護学援助論Ⅱ
高齢者看護学概論
高齢者看護学援助論
リプロダクティブヘルス看護学援助論
地域の健康と看護Ⅱ
家族看護論
産業看護論Ⅰ
学校保健活動論
精神看護学援助論
在宅看護援助論
看護カウンセリング

保健師課程を履修するために必要な科目

産業看護論Ⅰ
学校保健活動論

看護の基礎科目群

疾病治療論Ⅲ（筋骨格系）
疾病治療論Ⅳ（小児科系）
疾病治療論Ⅴ（精神・神経系）
疾病治療論Ⅵ（泌尿器・産科系）
医療工学入門
健康障害の回復と支援
疫学
保健統計
看護関係法規
保健医療福祉行政論Ⅰ
社会福祉概論
医療経済入門

保健師課程を履修するために必要な科目

保健統計

ヒューマンケアの基礎科目群

哲学
比較思想
実践医療英語Ⅰ
実践医療英語Ⅱ
コミュニケーション論

3年次

高度な看護理論と臨地実習で、看護職としての専門性を深める。

看護専門科目群

小児看護学実習◆
成人看護学実習Ⅰ◆
成人看護学実習Ⅱ◆
高齢者看護学実習Ⅰ◆
リプロダクティブヘルス看護学実習◆
急性期看護論
慢性期看護論
回復期看護論
終末期看護論
地域包括ケア概論
公衆衛生看護学概論
精神看護学実習◆
地域・在宅看護実習◆
看護研究方法

保健師専門科目群（定員20名以内）

公衆衛生看護活動論
公衆衛生看護活動展開論Ⅰ
公衆衛生看護活動展開論Ⅱ
公衆衛生看護学演習Ⅰ
公衆衛生看護学実習Ⅰ◆

看護の基礎科目群

保健医療福祉行政論Ⅱ

4年次

今までの学びを統合し、看護の総合力を高める。

看護専門科目群

高齢者看護学実習Ⅱ◆
地域母子保健
産業看護論Ⅱ
ヒューマンケア看護研究
ヒューマンケア総合演習
看護統合実習◆
医療安全論
看護管理
医療関係職種連携論
医療政策論入門
感染看護
がん看護
救急看護
災害看護
国際保健・看護

保健師専門科目群（定員20名以内）

公衆衛生看護学演習Ⅱ
公衆衛生看護管理
公衆衛生看護学実習Ⅱ◆

看護の基礎科目群

遺伝と健康
先進医療
労働衛生関係法規

国家試験受験（看護師・保健師）

臨地実習

看護学教育の核となる看護実習とは

実習施設は主として静岡県の東部地区の医療機関および地域の保健・看護・福祉施設（保健センター、地域包括支援センター、訪問看護ステーション、保育所など）、企業などで行われます。1年次は病院の機能、患者に提供されている医療サービスの把握、2年次は一人の患者を受け持ち、アセスメントに基づく看護計画を立ててケアを提供します。3年次からは、学んできた専門知識・技術を看護の実践に活かせるように実習は本格化します。そして、4年次の前期の看護統合実習で今までの実習を振り返りながら、自分の学修課題を明確にして、自主的で自立した実習を展開します。そこで、看護のチームの一員として必要な看護実践能力の基盤を養っていきます。

看護は、アート&サイエンスと言われます。サイエンスは、看護を裏付けるさまざまな学問的基盤です。一方、アートについては、芸術とも技（わざ）とも訳されます。患者に対するケアは卓越した技が求められ、その修得の最大の機会が看護実習（臨地実習）です。看護は、患者だけでなく様々な健康レベルの人、そして生まれる前からいのちがついえるまでのあらゆる成長発達段階の人を対象とします。ケアの場も病院だけでなく、地域や産業の場なども含みます。提供される様々な実習を通じて、看護の技をしっかりと身に付けてください。

＜臨地実習のスケジュール＞

1年次	2年次	3年次	4年次
基礎看護学実習Ⅰ	基礎看護学実習Ⅱ	小児看護学実習 成人看護学実習ⅠⅡ 高齢者看護学実習Ⅰ リプロダクティブヘルス看護学実習 精神看護学実習 地域・在宅看護実習 公衆衛生看護学実習Ⅰ（選択者）	高齢者看護学実習Ⅱ 看護統合実習 公衆衛生看護学実習Ⅱ（選択者）
看護師に求められる役割の理解、医療機関の機能と構造、各部門の役割について学びます。	看護師としてふさわしい態度を習得し、アセスメントする知識・技術の習得や、患者に必要な看護計画の立案、実施を学びます。	1・2年次で学んだ専門知識、技術を実践力へと結びつけていきます。集中的な治療を要する急性期疾患、継続的な治療を要する慢性疾患など、より専門性の高い実習が本格化します。	各領域の実習を振り返り、自己の学習内容を査定し、追求したい看護領域を明確にして、自主・自立した実習を実践。看護チームの一員として必要な、看護実践能力の基盤を養う実習を行います。

臨地実習の舞台となる施設例

静岡県東部を中心とする様々な医療機関、施設で実習を行います。主な医療機関・施設は以下の通りです。

- 聖隷沼津病院
- 沼津市立病院
- 西島病院
- 静岡医療センター
- 静岡県立総合病院
- 静岡県立こども病院
- 日本赤十字社静岡赤十字病院
- 静岡済生会総合病院
- 順天堂大学医学部附属静岡病院
- 富士宮市立病院
- 富士病院
- 聖隷富士病院
- 熱海所記念病院
- 熱海海の見える病院
- 新富士病院
- 三島中央病院
- 三島総合病院
- 三島共立病院
- 三島森田病院
- 伊豆保健医療センター
- NTT東日本伊豆病院
- 伊豆赤十字病院
- 共立産婦人科医院

その他
静岡県内保健所・市町村・企業
地域包括支援センター
訪問看護ステーション
老人保健施設
社会福祉協会
社会福祉法人共生会

在学生の声
Student's Voice

初めての看護過程

沼津ヒューマンケア学部　看護学科3年
米田 希梨子さん
静岡県立御殿場南高等学校出身

2年次の冬に基礎看護学実習Ⅱの臨地実習がありました。私たちは今回の実習で初めて患者様を受け持ち、看護過程を展開し、患者様に対してケアをさせていただきました。実際に患者様にケアを行うことは初めてなので不安でいっぱいでしたが、事前に看護技術を復習・練習する期間があり、先生から指導を受けることができたため、技術に対する不安を軽減することができました。

実際に病院へ行くと、学内で行っている紙上の患者様の看護ケアでは学ぶことができない、より実践的な部分を学ぶことができました。初めてのことばかりで、学内で練習を積んでいても上手くいかないことも多かったです。また、初めての受け持ち患者様ということで、分からないことや悩むこともありました。そんな時、先生や看護師の方々が丁寧にアドバイスをしてくださり、実習を乗り越えることができました。

今回の実習では、患者様とのコミュニケーションを通し、情報収集をすることを頑張りました。患者様と会話をすることで、電子カルテからの情報では得られなかった内面的な部分を知ることができ、個別性について考えることができました。改めて、個別性のある看護ケアを行うことの大切さを実感しました。

まだまだ自分に足りない部分はありますが、多くのことを学ぶことができ、成長することができたと思います。今後もっと成長できるよう勉学に励んでいきたいと思います。

Pick up Lesson!

大学入門講座

1年次 ヒューマンケアの基礎科目群

大学入門講座は大学生活への適応を促進し、自己教育力を高めることを目的として、1年次の前期に開講されます。この授業を通して、医療や保健、福祉などの領域で活躍する将来の自分のイメージと大学生としての現在とのつながりを明確にしていきます。それと同時に効果的なノートの取り方を学生同士で情報共有したり、スマートフォンやタブレットを用いたリアルタイムのレポート提出、文献検索の方法などを学び、能動的に学ぶ意欲と効果的な学修方法を身につけられるように複数の教員がサポートします。

▲図書館ガイダンスの様子

看護援助論Ⅲ

2年次 看護専門科目群

「保健師助産師看護師法」では、看護師の業務は「療養上の世話」と「診療の補助」と掲げられています。「療養上の世話」については、1年次に看護援助論Ⅰ,Ⅱで学修します。看護援助論Ⅲでは「診療の補助」の技術について学修していきます。診療の補助の技術には、酸素吸入や点滴静脈内注射、採血などがありますが、これらの技術には1つ間違うと重大な事故につながるものが多くあります。患者に安全・安楽な技術が提供できるよう、1年次に学修した看護援助論Ⅰ, Ⅱの内容もふまえながら、技術だけでなく、科学的根拠についても学修していきます。

在学生の声 Student's Voice

点滴穿石。いつか努力が実るように！

東都大学に入学した当初は、高校と違う点がたくさんあり、不安と期待が入り混じっていました。しかし、友達と協力したり、チューターの先生方がわからない点を教えてくださったおかげで、大学での生活が充実した素晴らしいものとなっていきました。

私がこの1年間の大学生活で特に印象に残ったのは、1年生の夏に行った「基礎看護学実習Ⅰ」です。実習先の病院では、看護師の方々や患者様と直接お話しすることができる貴重な機会の中で学ばせていただきました。指導を担当してくださった看護師の方々はテキパキと業務を行いながらも、患者様とのコミュニケーションも大切にされていました。この分刻みの業務の中で、これほどのことができる看護師の方々をみて、あのような看護師になりたいと強く思いました。私も大学での学びを深めて、指導してくださった看護師さんのようになるために日々精進していきたいです。

私はあまりコミュニケーションを取るのが得意ではありませんでした。しかし、「看護援助論Ⅰ・Ⅱ」といった演習科目や東都大学のオフィシャルサポーター、学生会などを通して、得意とまではいきませんが、かなり苦手意識は改善されました。2年次の「コミュニケーション論」でさらに学びを深め、自分の糧としていきたいと思います。これからさらに看護に関する専門的な知識を沢山学び、看護師資格だけでなく、保健師資格も視野に入れて頑張っていきます。

沼津ヒューマンケア学部　看護学科2年
芹澤 奏音さん
静岡県私立加藤学園高等学校出身

(例) 2年次前期のカリキュラム

	MON	TUE	WED	THU	FRI
1時間目	小児看護学概論 家族看護論	在宅看護援助論	成人看護学援助論Ⅰ	看護倫理	看護援助論Ⅲ
2時間目	看護関係法規 保健医療福祉行政論Ⅰ	在宅看護援助論	成人看護学援助論Ⅰ	疾病治療論Ⅳ(小児科系) 疾病治療論Ⅵ(泌尿器・産科系)	看護援助論Ⅲ
3時間目	疾病治療論Ⅲ(筋骨格系) 疾病治療論Ⅴ(神経系)	看護実践方法論		リプロダクティブヘルス 看護学援助論	看護援助論Ⅲ
4時間目	高齢者看護学概論	看護実践方法論	実践医療英語Ⅰ	リプロダクティブヘルス 看護学援助論	看護援助論Ⅲ
5時間目	高齢者看護学概論				看護援助論Ⅲ

学部長からのメッセージ

基礎看護学 教授　太田 勝正

沼津市に開設されたこの沼津ヒューマンケア学部も3年目を迎えました。東海道線沿線という地の利により、引き続き県内外から多くの学生さんが通っております。開設3年目は領域別の病院実習（臨地実習）がはじまる年でもあります。新3年生には若干の緊張も見られますが、将来の看護師、保健師を目指して頑張っています。皆さまにお越し頂く2024年度は、1年生から4年生の全員がそろう年です。新たな仲間をお待ちしております。

看護学科

Pick up Lesson!

看護師課程

小児看護学援助論

2年次 看護専門科目群

子どもは体験するひとつひとつの事柄が成長発達の糧になります。医療・看護を受ける子どもたちにとってもそれが成長発達のきっかけになるように、私たちは看護を提供したいと思います。また、小児の看護では自身に必要な病気の検査や治療に対し、子どもが理解し、納得して取り組むための支援や子どもの体格や身体機能、心理に応じたケアも大切です。小児看護学援助論では、小児期における対象を理解し、様々な状況にある子どもとその家族への看護が実践できるよう学習していきます。

在学生の声 Student's Voice

常に患者様の気持ちを考えて寄り添える看護師に

沼津ヒューマンケア学部 看護学科3年
内田 妃香さん
静岡県立三島北高等学校出身

私は将来、小児科で未来に向かって大きな可能性を秘めた子どもたちの成長発達を支えていけるような看護師になりたいと考えています。小児科では、成長途上にある子どもへの支援にあたり、意思決定の場面など子どもだけでなく家族との協力も必要不可欠です。通常の看護スキルだけでなく、子どもの身体的・精神的な成長の理解、家族への指導など、さまざまな視点や知識が必要だと学びました。私は子どもに対しての尊厳や権利を尊重し、子ども自身の意思決定を支援することができる看護師になりたいと考えています。

「基礎看護学実習Ⅱ」では自分が考えた計画と患者様のニーズにズレを感じる場面もあり、患者様の視点に立ってケアを考えることの大切さや、看護学の奥深さを学びました。今後患者様の気持ちやニーズを知ろうとする姿勢を忘れずに、より良い看護を提供できるように成長し、尊敬できる先生方の指導の下、同じ目標を掲げる仲間と日々学びを深めたいです。

教員Message

看護学を学ぶとは、人間とは何か、を学ぶこと。

小児看護学 教授 田﨑 知恵子

看護の対象は人間です。そのため、看護学のカリキュラムは、人間をあらゆる側面から理解できるように多くの教科目が用意されています。大学の4年間では、この看護基礎教育におけるカリキュラムをもとに学びます。また看護学は生涯学び続けることができる学問でもあります。看護学に関心のある人もない人も、「人間とは何か」を学ぶことは、自分自身の生き方を模索する時の道しるべになるでしょう。

結果として、看護師の資格を取得しましたら、人間の健康の観点から人々の生命と生活を守る専門職として活躍していただきたいと願っています。看護師は対象者（患者さん）の代弁者です。対象者は誰しも自分の意思や希望を他者に正確に伝えられるわけではありません。ちいさな赤ちゃんやこども、意識障害のある人、認知症があるお年寄り、このような人たちの代弁者となれたと感じた時、それは大きな自信とやりがいに繋がっていくことと思います。看護は、自分自身を知り自分の成長を実感できる仕事です。生涯をかけて学ぶ意義のある看護学への序章を本学からスタートしてみませんか。

保健師課程 定員20名以内

公衆衛生看護活動論

3年次 保健師専門科目群

保健師には、地域住民の様々な健康問題の支援に向けて、問題をかかえる個人だけでなく、個人を取り巻く家族や職場、学校、近隣住民などにアプローチすることが求められます。この科目では、地域における個人、家族、集団、組織の健康ニーズを見出し、それぞれのニーズに応じた公衆衛生看護活動の実際について学びます。さらに、人々のライフサイクル、感染症や難病等の健康課題ごとのヘルスニーズを把握し、法律や制度に基づき、展開される公衆衛生看護活動の実際と公衆衛生看護活動の必要性を学びます。

在学生の声 Student's Voice

働く人の心身の健康を支えられる産業保健師になりたい。

沼津ヒューマンケア学部 看護学科3年
後藤 晴香さん
静岡県立沼津西高等学校出身

私は入学時には看護師として働きたいと思っていましたが、様々な疾患や看護を学ぶうちに予防医療についての関心が高まりました。講義の中で産業保健師の方のお話を聞く機会があり、実際の業務や従業員とのコミュニケーションについて学んだことで、産業保健師になりたいと思うようになりました。

現在の日本では少子高齢化が進んでいます。労働者人口の減少に伴い、労働者1人ひとりの価値が高まっている状況であると考えます。この状況で、産業保健師には企業で働く従業員が健康で長く働き続けられるように支援することが求められています。また、地域や職種によって抱えている健康課題は様々です。そのため、その人の個別性を重視した支援を行うことができる産業保健師になりたいです。

看護師の勉強に加えて保健師の勉強をすることは人一倍の努力が必要ですが、将来働く人々の健康を支えられる保健師になるために、これからも勉学に励んでいきます。

教員Message

看護をとおして地域に貢献する人材を育てたい。

公衆衛生看護学 教授 杉井 たつ子
公衆衛生看護学 講師 小川 将太

保健師は、健康増進や疾病・介護予防の活動から、病気や障がいをもちながら地域で生活する人の個別支援まで、地域で生活するすべての人を対象とした多様な活動をしています。

また、保健師には、個人への健康だけでなく、地域の健康課題を科学的に分析することや、住民とのかかわりをとおして住民の生活課題を把握することが求められます。

保健師を目指す学生には、社会情勢や地域住民の生活の課題に関心を持てるように、大学の授業だけでなく、地域活動などにも積極的に参加をすることを期待しています。みなさんは、公衆衛生看護学を学ぶことをとおして、広い視野で看護をとらえることができるでしょう。

本学では、保健師として地域に貢献できる人材をつくることを目指しています。保健師は、看護をとおして地域に貢献できる、とてもやりがいのある仕事です。公衆衛生や公衆衛生看護学に関心のある学生には、ぜひ学んでほしいと考えています。

施設＆設備

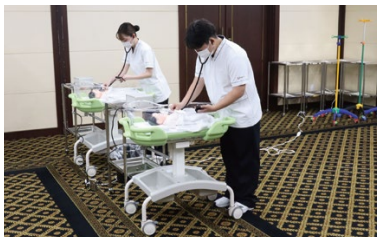
高度な技術を修得するための充実した施設・設備

基礎・成人実習室

学生3名に対して1台のベッドで様々な演習が行われます。ヒューマンケアの理念に基づき、患者の気持ちを考えながら、清潔、移動、食事、排泄などの日常生活の援助技術や、血圧、脈拍の測定といった患者が今どのような状態であるのかを把握するための技術など、看護実践のための基本的な技術を習得します。

高齢者・在宅実習室

高齢者看護学では、高齢者の安全・安楽な自立した生活を支援するために、老年期の特徴や健康課題をアセスメントするとともに、必要な看護の技術を学びます。在宅看護学では、自宅で看護を必要とする方への看護技術を習得します。お風呂やトイレ等、ご家庭同様の環境でのケアを学びます。



母性・小児看護実習室

妊婦・産婦・褥婦（じょくふ）や小児を対象とした看護知識を学び、各対象の特性に応じた看護技術を修得する設備を備えています。新生児の生理的変化の観察や身体計測、沐浴方法の看護技術を修得します。小児で病気になったときに収容する保育器や小児ベッドでの看護技術を修得します。

学生食堂

昼食時には、社会福祉法人共生会の安くておいしいお弁当、カレーライス及びパンの販売を行っています。また、昼食時以外にも授業の空き時間や放課後に学生が自由に使用することができ、学生の交流の場となっています。また、テラス席も設置しており、暖かい季節には心地よい時間を楽しめます。

講義室 1-1・1-2・2-1

約100名ずつ学生を収容できる沼津キャンパス最大の講義室です。必修科目及び教養科目といった大人数が受講する科目で使用されることが多く、正面のスクリーン以外にもモニターを設置し、学生が学習しやすい環境を提供します。

学生ラウンジ

エントランスの隣にあり、学生や教職員が自由に使用できる、日当たりの良い明るいオープンスペースです。昼食後や授業、実習の合間にゆったりくつろぐことができます。wi-fi環境が整っており、自習、web閲覧をする学生が多く見られます。

メディアプラザA

「情報学基礎」「情報処理」などの授業で使用されています。また、授業の空き時間には、自由に学生がPCを使用することができます。学生の自宅にPC環境がない場合であっても、大学内でレポート課題、自習及び履修登録の利用が可能です。

図書館

窓からは富士山が見えて、夕暮れ時には赤富士が見えることもあります。柔らかく優しい光のライトを使用しているので、時間を忘れてしまうくらい居心地の良い空間となっています。自然の雰囲気を残した机の後ろには、看護を中心とした書籍が並び、大変学習しやすい環境となっています。

講義室1-3

選択科目等で使用される最大収容人数50名の講義室で、ビデオ会議システムを設置した遠隔授業にも対応できる講義室です。遠隔授業対応教室では、東都大学の他のキャンパスとの合同授業もできます。